

**2019年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書**

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部 国際社会科学科 2年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 University of East Anglia, Norwich Research Park, Norwich, Norfolk, United Kingdom, NR4 7TJ
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2019年 9月 23日 ～ 2020年 6月 5日 出国日 2019年 9月 18日 最終帰国日 2020年 3月 26日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

留学当初は新しい環境の中で自身の未熟さを痛感することが多々ありました。最初の頃に出会ったフラットメイトとの会話を聞き取れず会話がなかなかスムーズにいかなかったことや、授業内での話し合いについていけなかったことです。その後、自ら様々なイベントに参加していくことでそのような場になれることができたと思います。また、受け身ではなく相手の話に興味を持ったり、授業の内容でわからないことがあったら友達や教授に聞いたり恐れずに行動することの大切さに気づきました。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

留学前にリスニング力をより鍛えておけばよかったと感じました。英語が出てこなく伝えようと努力をする前に、聞き取れないことが多々あり辛かったです。相手の話をしっかりと聞いて会話が成り立つと感じました。

また、ニュースなどを見て、自分の考えを持つ練習をしておけば良かったと思いました。「日本は?」「あなたはどう思う?」と自分の考えや意見を求められることが多かったからです。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

イーストアングリア大学の教授はとても親しみ深く接してくださいました。セミナーやワークショップではわからない点はないか練習問題はどのくらい解けているか教室を歩き回りながら聞いてくださいました。その為、授業中のみではなく授業外でも質問しやすかったです。メールを通じて質問すると迅速に対応してくださいました。また、授業は話し合いの時間が多く設けられます。その為、友達とわからない点を共有したり、助け合うことが多々ありました。授業で習ったことをセミナーやワークショップで練習問題、プレゼンテーションなどの実践を通して復習する形式です。この点に関しては日本と異なると思います。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

キャンパス自体は広く驚きました。キャンパス内には、カフェテリアをはじめ 24 時間空いている図書館、バー、病院、ジム、スーパーがあります。その為特に不便を感じることなく生活できました。特に私が気に入ったのは壮大な湖です。湖を 1 周するには徒歩 25 分ほどかかります。空気がとても澄んでいてとても気持ちいいです。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

留学生を対象とした語学補修講座は授業外に無料で開講されています。listening, reading, academic speaking, pronunciation, writing の 5 つの授業が毎週 1 時間ずつ約 6 週間にわたって開講されます。抽選が行われる程人気の高い講座です。個人的には、発音を学習する機会がなかった為貴重に感じました。

また、私は経済学科を専攻しましたが、経済学を学んでいる留学生を対象とした特別講座も 1 週間 2 時間ずつ約 1 カ月にわたって開講されました。参加してみた感想としては、エッセイの書き方や参考文献の引用の書き方などを学び、とてもためになったと感じています。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

生活面のサポートは手厚いと思います。まず、現地についたら寮まで案内してくれたり、個々学習面や生活面に相談をのってくれるアドバイザーもついたりします。さらには、study abroad office のスタッフの方々が気さくに話してくださいます。留学生向けのイベントに関しては、留学生限定のクイズパーティーやノリッチ観光など交流できる機会が多くあります。留学生限定のクイズパーティーは、毎学期の初めに開催ごとに割り当てられたグループでピザを食べながら協力してクイズに答えるというものです。ここで初めて知らなかった留学生の友達と出会い緊張を解くことができました。

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

特になし

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

大学が位置するノリッチは治安がとても良いと聞いていました。実際に、生活してみて一度も盗難に合ったり恐怖を感じたりすることはありませんでした。夜はできる限り大学外を一人で歩かないよう心掛けてはいましたが、明るいうちは一人で出歩いても安全に感じました。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

イーストアングリア大学では、ヨガの体験やクッキング、観光ツアーなど多くのイベントがあり、イベントのホームページで探すと様々なアクティビティが毎日のようにあります。何か新しいことがしたいときには参加することで気分転換ができます。私は、疲れた時にはヨガ体験に参加したり1時間のドッグウォーキングに参加したりしていました。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Introductory microeconomics	
The economics of society	
Intercultural communication in practice	
The economics of business decision-making	
Introductory statistics for economics	
Language, culture and interpersonal communication	

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮 (standard single ziggurat)

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 £458.36 、(日本円) 約 65000 円

(3) 食事

自炊

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 (大学中心部に位置する寮だった為教室まで徒歩約 10 分程度)

(5) 感想、良かった点・悪かった点

私が選んだ宿舎は1年生専用の宿舎でした。12人のフラットメイトとシャワールーム、トイレ、キッチンを共有し生活しました。部屋は別々にあります。良かった点としては、共有するスペースが多い為フラットメイトと交流することが多く、家賃も比較的安いです。また、大学の中心部にあり一番アクセスが良いです。悪かった点としては、1年生の寮な為活気であふれていますが、騒音などが気になりました。

4. 費用について

(1) 学 費

(現地通貨) 約 0 、(日本円) 約 0 円

(2) 渡航方法と金額

飛行機(日本円) 約 170000 円

(3) 生活費

(現地通貨) 月額約 £850 、(日本円) 約 120000 円

※宿舎費を含めた金額を記入してください。

(4) 費用の持参方法

クレジットカード/現金

イギリスは日本よりもクレジットカードが浸透していた為、マーケットでお買い物する以外は基本的にクレジットカードを利用することができました。日本人の友達で現地のクレジットカードを作った人もいましたが、私は日本から持っていった visa のカードを使いました。盗難に合うことが怖かった為現金は大金を持たずクレジットカードを持ち歩くようにしていました。特に不便を感じることはありませんでしたが、クレジットカードを盗まれた時の為にスキャンしておきました。クレジットカードは1枚しか持っていきませんでした。2枚持っていくとより良いと思います。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

渡航費に使わせていただきました。

5. 保険について

(1) 保険会社名

東京海上日動

(2) 保険料

約 90000 円

(3) 加入した保険の種類、内容

損害死亡、障害後遺障害、治療・救援費用、疾病死亡、航空機寄託手荷物遅延等、航空機遅延費用が含まれている保険

(4) 感想、良かった点・悪かった点

やはり保険に入っていると安心しました。運よく特に怪我をすることなく帰国できましたが保険に加入することは必須だと思います。私は念の為歯科治療費用補償がついているプランを選びましたが、個人的には無くてもよかったかなと思っています。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物

(2) 持って行って良かったと思う物

日本から日本のスキンケア類を持って行って良かったと感じました。現地にはほとんど化粧水は売っていないのは、スキンケアの方法が異なるためです。また、菜箸は持って行って良かったと思います。自炊するため、菜箸は料理をする度使いました。

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

持って行く必要が無かったと思うものはたくさんあります。まず、ハンガーやタオルはほとんど持って行く必要が無かったです。現地ですぐに購入できるためです。また、私が滞在した時期は寒かったため、ほとんど夏物の服は必要なかったです。

(4) 持って行けば良かったと思う物

風邪薬などの薬を持っていけば良かったと思います。2 学期目からは現地の生活に慣れた為体調を崩すことはほぼありませんでしたが、1 学期目は 3 回ほど風邪をひきました。しかし、現地の病院は薬局で済まされることが多くなかなか診察をしてくれませんでした。日本の薬が効かないとのこともあると思いますが、非常時の為風邪薬、頭痛薬は持って行った方が安心すると思います。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

平日は基本的に学校内で生活していました。語学補修講座、所属しているサークルのイベント、図書館でのグループ作業、予習・復習をして放課後過ごすことが多かったです。

(2) 週末

週末は基本ノリッチにあるマーケットやモールに遊びに行きました。また、校内のカフェは週末も空いているので気分転換にカフェで勉強することもありました。他にも、他国の留学生の友達と料理を作りあったりしました。

8. 後輩へのアドバイス等

イーストアングリア大学は自然に囲まれ、留学生のサポートが手厚い点から魅力的な大学だ

と思います。留学を通して様々な自分自身の変化に気づきました。日本で同じ環境にいたら気づかないようなことに気づき、自分を成長させる良い機会だと思います。留学をしたい目的・目標は何かを考えてから留学をしていただきたいです。留学中は挫けることもあれば、新しい刺激を受けたり楽しいこともたくさんありました。常に、留学という経験をさせてもらったことに感謝し目標を胸に充実した留学生活を楽しんでください。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。